

全国のCMSC支部。連絡先と今年の活動計画をした支部の代表です。

## CMSC 香川



立っているのが前会長で今年から顧問を務める田中昭男さん、その右が小野隆徳さん。

●会長 菅野仁司 香川県高松市伏石町171-7  
☎0878-67-8960 ●事務局 白井修 香川県高松市郷東町370-43 ☎0878-82-4335 ●活動予定 7月26日、香川スポーツランドで '87CMSC アストロトライアルを主催。

## CMSC 島根



立っているのが会長の杉坂啓一さん、左隣りが祖田和安さん。

●会長 杉坂啓一 島根三菱自販松江西営業所  
●事務局 国谷益雄 松江市西條島1-3-28島根三菱自販松江西営業所 ☎0852-26-1630 ●活動予定 8月16日 '87日本海ダートラチャンピオンシリーズ第6戦CMSC島根ダートトライアルを主催。昨年以上に面白い大会にしたい。

# 新CMSC 誕生!

## CMSC 仙台

1月20日JAF加盟クラブとしての正式認可があり、3月3日、12番目のCMSC支部「CMSC仙台」の発会式が行なわれた。会員は21名。「仙台にはラリーフィールドも多いし、サーキットも菅生、西仙台と2つある。モータースポーツ愛好家にとって恵まれた環境です。仙台でモータースポーツが盛んになるのは当然。クラブ活動は同じ趣味を通して話し合い励ましあう。これは生きていくうえでいちばん大切なことだと思う」と名誉顧問の塩沢誠一さん（仙台三菱自販代表取締役社長）があいさつ。

会員には2輪の愛好家も多く、4輪と並行してクラブ運営をしていく予定。ミラージュカップ東北シリーズ4戦にエントリーする。

●会長 今野保弘 仙台三菱自販サービス部長  
仙台市大和町4丁目6-12 ☎022-238-1347 ●事務局 佐藤政一 仙台三菱自販西多賀営業所サービス課 仙台市中倉2-23-17 ☎022-235-8858



前列中央でJAFの公認盾を手にしてるのが名誉顧問、塩沢誠一さん、後列顧問のすぐ後ろが会長の今野保弘さん。発会式で。

## CMSC 埼玉

13番目の支部として名乗りを上げた「CMSC埼玉」は、やっとJAF加盟クラブとしての正式な認可がおりたところ。4月29日のミラージュカップ東北シリーズ第1戦へのエントリーを予定しており、クラブの発会式より前に実際の活動に入ってしまうようだ。

メンバーは現在24名。「クラブ運営について先輩クラブの方に教えていただきたいことが多々あります。」と、事務局の小沼仁さん。一日もはやくラリーやダートなどのイベントを主催できるよう、クラブとしての力をつけたいそうだが、今年はそんなに欲張らずに、出来るだけ多くのイベントに参加して、個人としても、またクラブとしても経験を積みたいとのことである。

●会長 中島信 埼玉三菱コルト自販代表取締役社長  
●事務局 小沼仁 埼玉三菱コルト自販販売部次長 埼玉県大宮市桜木町4-476 ☎0486-44-2522



前列、右から2人目が事務局の小沼仁さん。昼休みに埼玉三菱コルト自販のショールームに主なメンバーが集まってもらった。

## ●CMSC主催イベントスケジュール 4月～8月

月 日	タ イ ト ル	主 催
4月12日	CMSCダートトライアル	CMSC山形
5月10日	スリーダイヤモンドトライアル	CMSC栃木
5月17日	CMSCトライアルin群馬	CMSC群馬
7月5日	岩手三菱ダイヤモンドトライアル	CMSC岩手
7月26日	CMSCアストロトライアル	CMSC香川
8月16日	CMSC島根ダートトライアル	CMSC島根
8月23日	トランス杯CMSCダートトライアル	CMSC帯広

## モータースポーツを通して、人の和を深めたい。

外川一雄 CMSC会長

今回このように全国のCMSC幹部が顔を合わせたのは、CMSC20数年の歴史のなかでも初めてのことでないかと、意義深く感じ喜んでます。

CMSCは第1回グランプリを契機にファクトリーチームとして誕生し、第2回グランプリで三菱ここにありという成果を上げました。それ以後各地でCMSCがポツポツ活動を始め、全国19カ所に広がった時代もあったのです。いままた活性化してきて、今年はCMSC埼玉、CMSC仙台と新しい兄弟がまた増えました。

CMSCも最初から華々しかったわけではなく、なかには走る車もなくて

皆さん非常に苦勞された時もありました。だけど人の和だけは絶対崩してくれるなよと、私は本当に皆さんにお願いして全国を回った覚えがあります。皆さんがそれに答えてくれて、いまこうして盛大な会を開けたことに、心から感謝申し上げたいと思います。

CMSCというのは、人生いろいろ遊びがあるなかでオレはモータースポーツがいちばん好きなんだと、モータースポーツの道に入り喜びを得、悲しみを、充実感を得る。そういう人たちが同好の士を得てクラブを作る。そのクラブも、やっぱりその人に似合うクルマがあるわけで、オレは三菱が似

合うんだということで、皆さん三菱を選んでいただいたと思うのです。全国に根を生やして、しかもアマチュア志向を貫き通してやってる組織は、我が国広しといえどもほかにはありません。クラブ全員を集めるとCMSCは日本一大きいんですね。

これをやって一文の得をする人もいないと思いますが、いつかモータースポーツをやってよかったなあと感じるに違いない。われわれはそういう人たちの人生での充実感、モータースポーツへの抱負に何らかのお手伝いをしたいと考えています。

(全国大会のあいさつから要約)

おや、こんにちは。  
どなたかと思ったら・・・

昨年スタッフセブンで活躍した奥山道子さんと、親しそうに話しているのはCMSC山形の小川日出生会長。3月15日、筑波サーキットのバドックでフォーカス。東北シリーズにエントリーする小手調べに12年ぶりに筑波を走ったとのこと。「20年もラリーをやっていると、サーキットでもラリーの走り方をしてしまっただめだね。もっと練習しなければ」と額の汗をぬぐっていた。



# '87全日本ラリー選手権第1戦 第18回DCCCS ウインターラリー 顛末記

2月14日(土)、15日(日)

レポート 館山正嗣 CMSC青森

もうオートスポーツ4月1日号などで、事件の顛末をみなさんご存知かと思う。自分たちもラリーをオーガナイズすることがあるのだが、こんどの事件はドライバーとしても、またオーガナイザーとしても、反省することが多かった。

大西くんがゼッケン1番で、ほくが2番。スタッドレスタイヤでも、雪の降り始めには強いはずだから、イケルとふんでいたのだ。チーム・アッスルのコルディアはセッティングもよく、サブミッションを上手に使えばかなりの戦力を発揮する。実際、予想通りの展開になった。後からスタートした連中は、踏み固められた雪がアイスバーンになって、悩まされたらしい。

「速かったのはコルディアだが」という小見出しを見ると、少しくやしい思いがする。浅間園のSSの後でチェックラインを越えたのだけれど、オフィ

シャルのクルマがどこに居るのか分からなくて、チェックカードを貰えなかったのだ。普通はスモールランプを点灯しているなど、選手にすぐ分かるような配慮がされているのだけれどね。

SSでも「あれっ！」と思うことがあった。ハイロンが立ててあるのだが、点灯しているものといないものがあったようだ。ようだというのは、全部点灯していたという人もいたからなのだけれど。まあ、後の祭りということ。



手前ゼッケン②は館山/永沢組、奥の①は大西/田口組。信州スポーツランドSSスタート前にて。

抗議書は提出しなかった。オーガナイザーの運営の苦勞がよく分かるからだ。もうひとつは、青森県人の内気な性格からだね。この事件から自分たちが今度レースをオーガナイズするときは、こうしようと思ったことがいくつかある。

まず、ドライバーの気持になってコースの設定をしようということ。岩木山周辺を使ったCMSCウインターラリーin青森でも、コースの設定には

気を使ったつもり。机上で設定したあと実際に走ってみる。ベテランばかりでなくビギナーにも走らせてみて、初めてそこを走る人にもすぐ分かる表示や指示をするようにしたいものだ。

次は、例外無しの原則主義を守りたい。そうすれば、現場での混乱はないはずだ。

そして、出場した選手から「楽しく走れました」と、御礼をいわれるようなラリーにね。

## CMSC帯広

第5回CMSC帯広コルト氷上トライアル '87年1月18日(日)  
道東氷上シリーズ第1戦

### 改造タイヤ部門で井馬ランサー総合2位

レポート 青沼達也

第5回コルト氷上トライアルは道東シリーズの第1戦として、さる1月18日、豊頃町佐々沼で開催された。360度ターン、タコツポフルターン、スラロームなどテクニカルな1.8kmのコースが作られ75台がエントリー。

ノーマルタイヤクラスは今年から1600ccで上下になったため、N1クラスに三菱車の参加はなし。N2クラスにもコルディアのエントリーがなかったのが井馬ランサーの8位が最高であった。

しかし、改造タイヤ部門では井馬ランサーが総合2位、ただ1台B車両で参加した富樫ランサーが、改造車をしりぬに総合4位と大健闘した。



三菱賞1位になった井馬隆光選手(左)、同2位の加藤由記選手(右)。



改造タイヤ部門R IIクラスで総合2位になった井馬隆光選手のMONK小野寺ランサーT。

## CMSC香川

'87CMSCトリアル・イン香川  
'87年2月15日(日)

### 快走、好評で、無事終了

レポート 白井修

当日は雨こそ降らなかったものの、曇り空で底冷えのするというコンディションだった。参加45台が香川スポーツランドに集合。ベテランよりもフレッシュマンが多く、大会開催の目的は叶ったと思う。早朝8時30分のスタートだったが、駐車場がいっぱいになるほどのギャラリーの観戦もあり、出場選手のなかにはリキミが目立つ人もいた。

三菱車のエントリーは藤原政彦のランサーT1台で、C2クラスで優勝。副賞のラリーアートロフィーとブルゾンを手に入れた「ニコリ」の彼だが、C2クラスは参加車が2台だけであったことを付け加えておこう。7月26日には「'87CMSCアストロトリアル」を主催する予定で80台以上の参加があると期待している。



C2クラスで優勝した藤原政彦のランサーターボ。エントリーの少ないところを狙うのも作戦のうちか。